

😊 SMILE があふれ、HAPPY を感じられる学校 😊



# スマハピ通信

第2号

平成30年(2018年)4月30日

文責 校長 小島 昇

## 運動会テーマ

### 「心をひとつに～GJS PRIDE～」 の実現に向けて…

5月12日に行われる運動会に向けての準備や練習が本格化してきました。初等部・中等部の全ての児童生徒が学年の枠を越え、GJSの児童生徒としての一体感をもつことができる学校行事となるように願っています。児童生徒の願いも一緒のようです。本年度のテーマは「心をひとつに～GJS PRIDE～」に決定しました。

このテーマの実現に向けて、本校の伝統である応援団の存在は欠かせません。9年生の応援団長を筆頭として、応援団のメンバーは毎日毎日休憩時間も削って練習に励んでいます。そして、応援練習の全校集会では、応援団が始めから全力で声を出していますから、応援団以外の児童生徒も力いっぱい応援でそれに応えます。



初等部の低学年だけではなく、9年生のクラスメイトも応援団以外の生徒として一緒に声を出し、拳を

挙げ、手拍子をしてくれるので、応援団長も安心をして自分の務めを果たすことができます。応援団長に協力するという事は簡単なことではありませんが、この



年代の生徒たちにとっては、実はそれほど簡単なことではないとも言えます。また、応援団の中には、必ずしもなりたくなかった訳ではない人もいます。それでも、ベストを尽くして自分がすべきことをしてくれています。きっと、どのように振る舞えば良いかを判断し、行動している結果であると考えられます。

本番だけ良ければよいと言う考えでなく、練習が始まったばかりの今の段階で、このような姿を見せてくれているのは、さすがGJSの生徒たちです。「心をひとつに～GJS PRIDE～」をこの生徒たちは必ず実現させてくれるものと期待が膨らみます。

## プリンシパルアワードの見直し

プリンシパル・アワードにつきましては、昨年度まで「国語科漢字部門」「国語科読書部門」「体育科」「ART科」「英語科」の5部門において、特に向上が著しく、努力が認められる児童生徒を表彰してきました。一方で、教職員としては、客観的な判断基準を設定して選考することの難しさや、表彰の対象となる部門が限定されていることに対する不公平感等に課題を感じていました。そのため、本年度はプリンシパルアワードのあり方を見直すこととします。

まず、これまでのプリンシパルアワードの目的(自ら設定した目標に対して、計画的・継続的に根気よく努力する態度を育てる)を尊重し、持久走記録会や百人一首大会等で最上位となった児童には副賞としてメダルを授与します。



次に、人数や部門を定めずに、他の児童の模範となる行為やその結果に対して、プリンシパルアワードを贈ります。これについては、メダルではなく、ちょっとした記念品を贈ることを考えています。校長が、日常的に児童生徒の頑張りを認め、励ますという趣旨で始めるものです。「特別感」は低くなるかもしれませんが、学習面だけでなく、生活面も含めて表彰対象とし、幅広く児童生徒のキラキラを認め、価値付けていくことができるようにしたいと思います。



現在、物品を準備中のため、5月後半から始められる見通しです。「校長先生からプリンシパルアワードをもらったよ。」と報告がありましたら「よかったね。何のことで褒めてもらったの?」と聞いてみてください。

## 5月行事予定

※ HP版では公開していません。



## ホームページでご確認を!

PTA 総会の校長挨拶でお話ししましたが、今後少しずつ紙での文書配付を減らしていきたいと考えています。

GJSのウェブサイトのトップページから「お知らせ」⇒「在校生向けお便りはコチラ」に進み、学校だより第1号でお知らせしましたパスワードを入力してください。その後「学校からのお便り」に進みますと、掲載中のお便りをご覧ください。

「2017年度 アスベストに関する報告」は紙で配付しませんので、ウェブ上で内容をご確認ください。また、PTA 総会の挨拶で、保護者の皆様と共有したいニューヨーク日本人学校の歴史についてお話ししましたが、その概要も掲載しました。欠席された方にも、一度ご覧いただければと思います。